

合格体験記

氏 名:

担任講師: 阿 赫・真 先生

在籍校舎: 西日暮里 校

進学先 東京女子大学

その他
合格校

学習院女子大学、実践女子大学

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私は高ニの秋頃に、受験とは使わないけれど苦手だった数学の成績をなんとかするため稲門学舎に入りました。高ニの一月頃にはよく自分の周りがだんだん受験生の意識を持ち始めていて、私も少しずつ勉強を始めていましたが、志望している同級生が多かったからなんとなくでMARCHレベルの大学を第一志望にしていたので模試の結果が悪くても「まあそんなものだろう」とやや楽観的に考えていました。しかし夏休みが終わる頃になっても、第一志望としていた大学に進学したいと強く思っていた訳ではなかったせいか勉強になかなか身が入らず、成績も伸び悩んで、内心とても焦っていました。そんな折、面談で先生に女子大というものを選択肢の一つとして薦められました。それは、それまでの私にとって全く思い浮かばなかった選択肢で、話を聞いてなんだか目の前が開けていくように感じたのを今でも覚えています。そうして、ちゃんと自分が行きたいと思う第一志望の大学を決めて、本気で受験勉強に取り組むことができたようになりました。

今振り返ると、大学についての知識が少なかったまま受験生になって選択の幅を自分で狭めてしまっていたことや、志望校の決定が遅くて問題形式の対策を短い時間で行うことになってしまったことなど、後悔はたくさんあります。受験期の後半に始めた勉強が、やり始めたからスルスルと内容を理解できるようになって「もっと早く始めればよかった」と思うこともありました。けれど、本当に希望する大学を目標に設定できると、そのためならどれだけ頑張れる。普段ならどれだけ面倒かと

感じる勉強も、自ら実行してみました。こんなに何かを努力することができたのかと自分自身でも驚きました。そのため、本当に希望する大学を見つけるのは大変だけど一番大切なことだと思いました。

塾のそれぞれの教科の先生方も、私に親身になって教えてくださり、そして実際にしていた受験勉強法から現在の大学生活のお話まで色々なことを聞かせてくださって、受験勉強の励みになりました。私自身の大学に関する悩みや相談もたくさん聞いていただきました。

大学受験は精神的にすごく疲れましたが、私の人生の良い経験になったんじゃないかと思います。稲門学舎という塾は私にとっても合っていました。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。